

第7章 着実な計画推進のために

1. 推進体制

市民・事業者と市、河川管理者や流域自治体と協働・連携して、健全な水循環系の再生による『八王子・水のまちづくり』を推進します。そして、環境に関する施策は環境基本計画に反映し、八王子市環境基本条例に基づく環境推進会議・庁内環境調整委員会の制度を活用して、1年間の進ちょく状況の点検と5年後の検証を行います。

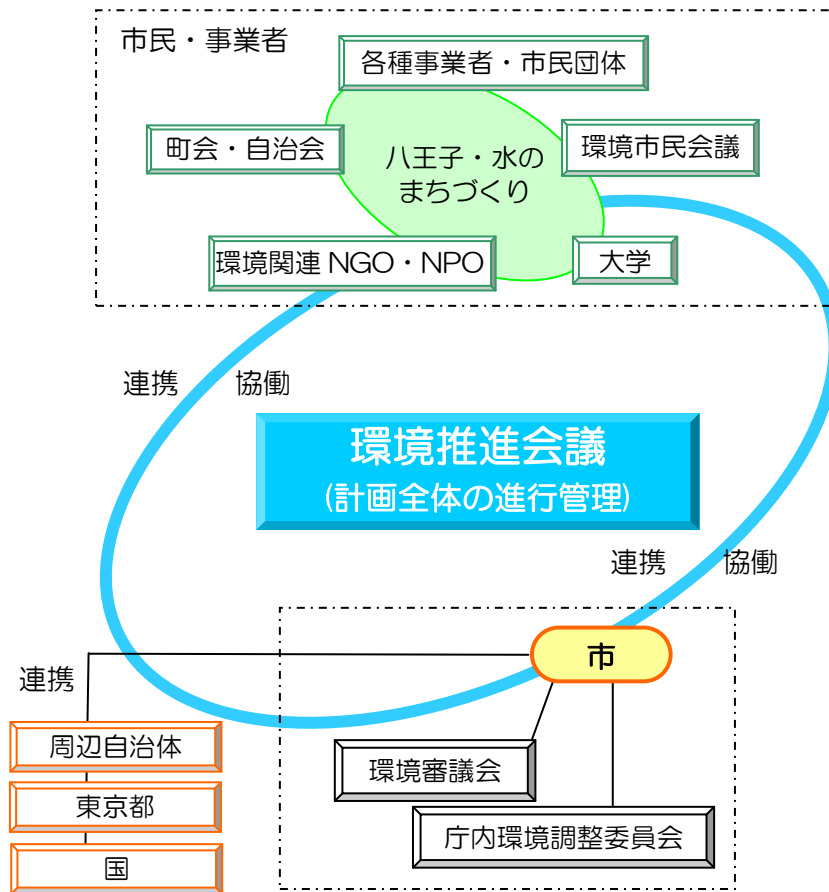


図7-1 水循環計画の推進体制



2. 推進プロセス

八王子・水のまちづくりにおいて、『健全な水循環系再生の5つの行動の推進』と『水循環に係るライフラインの整備』を推進し、さらに計画の推進力として『身近な水辺の復活10年プロジェクト』を実施していきます。また、PDCAサイクルでの計画の見直しと改善を行い、健全な水循環系の再生に向けた事業展開を図ります。

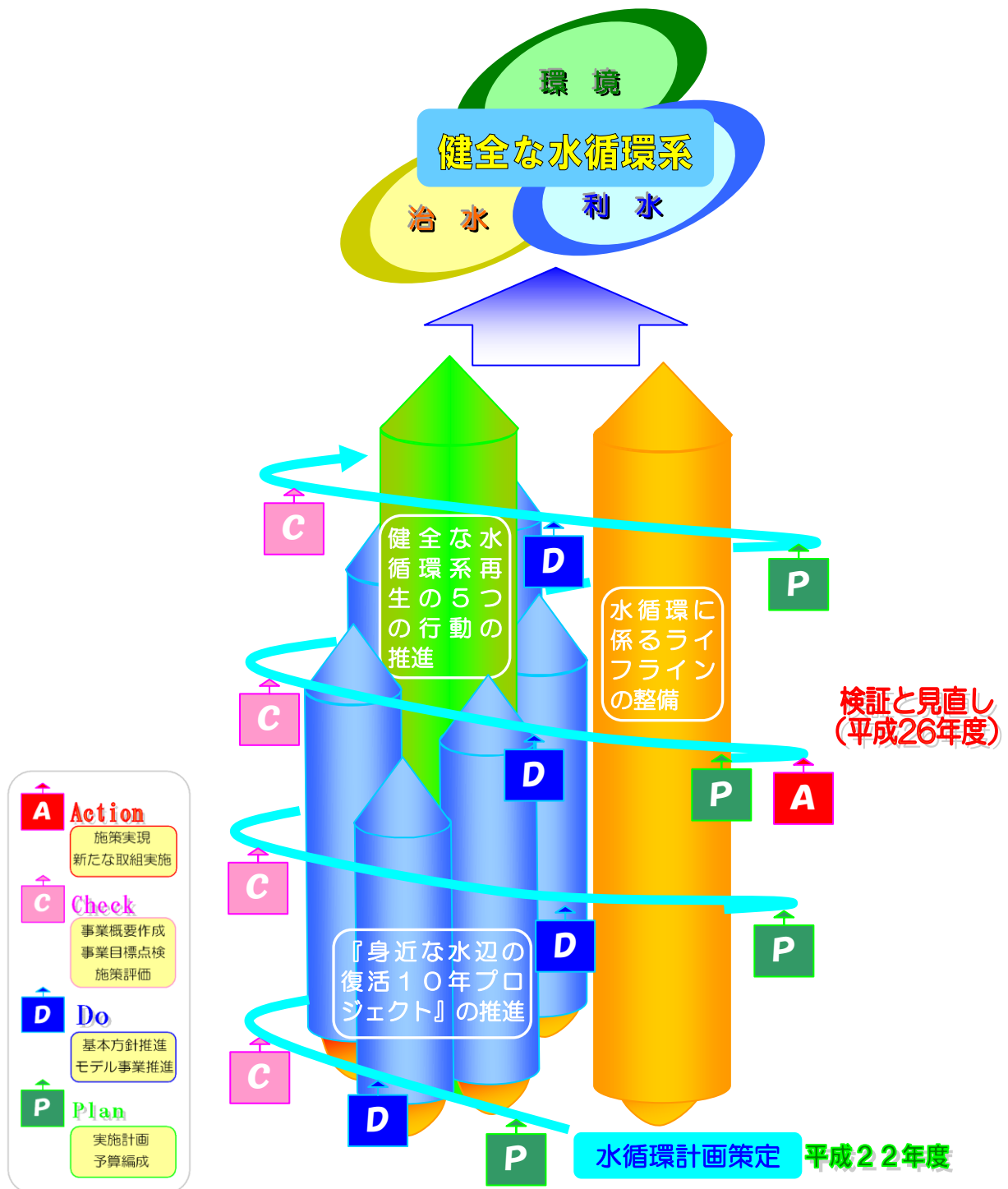


図7-2 水循環計画の推進プロセス

3. 事業目標と実施スケジュール

水循環計画の取組み状況は、事業目標と実施スケジュールによって把握していきます。

方針1：健全な水循環系再生の5つの行動の推進

◎雨水を浸透させる

計画期間目標：湧水に豊かな水量を取り戻す
管理指標：雨水浸透施設設置数

取組み	担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）					
			平成22～ 平成26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
(1) 市街地・宅地などでの雨水浸透の促進	水環境整備課	雨水流出抑制の制度構築・体制整備	制度構築・体制整備		計画推進			
		公共施設での雨水浸透施設設置推進	設置推進					
		補助事業で1年に200基	設置促進					
	水再生課	4か所で継続	強化地区設定					
(2) きれいな水が湧き出す水源域の保全	水環境整備課 環境保全課 農林課 環境政策課 公園課	ガイドライン作成と保全活動の実施	ガイドライン作成		保全活動			
		主伐・植林の推進	継続推進					
	農林課 環境保全課 水環境整備課 環境政策課	間伐の推進	継続推進					
		保育の推進	継続推進					
		利用の推進	継続推進					
(3) モニタリングの実施	水環境整備課 水再生課	実施						
(4) 流域と連携した取組	水環境整備課	実施						

- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



◎きれいな水を川に戻す

計画期間目標：泳げる水質を実現する
管理指標：環境基準（河川）

取組み	担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）						
			平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	
(1)生活排水対策の推進	1) 公共下水道への接続促進	水再生課		新たな施策構築・周知					
				接続促進					
	2) 市設置型浄化槽の整備促進	下水道課	対象全世帯で整備	手法構築・周知			浄化槽の設置促進		
	3) 個人設置浄化槽維持管理の徹底	水再生課	三大義務の徹底			指導徹底			
						公共下水道継続指導			
	4) 市民への啓発活動と相談体制の充実	水再生課							
(2)適正な水質の管理	1) 河川や水路、地下水の水質調査	水再生課	継続した監視の実施			継続実施			
	2) 工場などへの立ち入り検査、指導	下水道課 水再生課	1年に延べ120回			継続実施			
(3)モニタリングの実施	水再生課	実施							

- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



◎生きものの棲む水辺を育てる

計画期間目標：きれいな水に棲む生きものを増やす
 管理指標：自然性を高めた水辺の箇所数

取組み	担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）							
			平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31		
(1) 自然に配慮した川と水路の水辺づくり	1) 多自然川づくりへの取組み	水環境整備課	市民との協働による水辺づくり	しゅくみ構築	河川整備と水辺づくり					
	2) 水路の水辺づくりと維持管理	水環境整備課 水再生課 水再生施設課	自然に配慮した水辺づくり	ガイドライン作成	水路改修					
(2) 湧水や休耕田を活用した水辺づくり	1) 湧水をいかした公園づくり	公園課 水環境整備課	六本杉公園、石川東公園で実施	プロジェクトで実施						
	2) 休耕田を活用した生物の生息空間づくり	水環境整備課	川口川上流域で実施	プロジェクトで実施						
(3) 外来生物への対応		水環境整備課 環境保全課	しゅくみ構築	プロジェクトで実施						
(4) 生きもの調査の実施（モニタリング）	1) 水辺の生きもの	環境保全課 水再生課 公園課	生きものマップ（仮称）等の作成	ガイドライン作成	調査、データベース化	マップ作成	活用			
	2) 水辺地（水辺のすこやかさ指標）	水再生課	すこやか水辺マップの活用	調査、マップ作成	活用、マップ更新					





- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



◎水を上手に使う

計画期間目標：水資源を大切に^{みまも}する人を増やす
 管理指標：水辺の水護り制度への参加人数

取組み		担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）						
				平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	
(1)水資源の有効活用	1)雨水の利用促進	水再生課	雨水貯留槽の設置推進、1年に50基（市の補助事業）			設置促進				
	2)中水利用の促進	水再生施設課	適正な維持管理			維持管理				
	3)新たな水資源利用の取組み	水環境整備課	調査・検討の実施	調査		導入検討		導入		
	4)適切な水利用の推進	水環境整備課 環境保全課	指導の継続			指導の継続				
(2)環境教育・学習の推進	1)環境学習拠点づくり	水再生課 水再生施設課	北野環境施設での環境学習拠点づくりと活動の推進	活用			活用、拡充			
	2)拠点と地域を結ぶ活動の推進	水再生課 水再生施設課	ネットワークづくりと地域活動支援	ネットワークづくり		地域活動の支援				
	3)水辺の環境教育や環境学習の推進	水再生課 水再生施設課	副読本等教材の充実			見直し活用				
		水再生課 水再生施設課	水辺の楽校づくり			協議会支援				
4)河川や湧水の水文化の発掘と継承	水環境整備課	湧水ネットワークス構想の実現			プロジェクトで実施					

-  環境基本計画の成果指標・取組の柱
-  目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
-  目標に向けた施策の実施を示す
-  目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



取組み	担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）							
			平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31		
(3) 里川づくり	1) 水辺の清掃活動への支援	ごみ減量対策課	活動支援			継続支援				
	2) 水辺の ^{みまも} り制度の充実	水環境整備課	制度の充実と活動支援	制度創設		登録と活動支援				
	3) 水辺の親水性の向上	水環境整備課	水路や河川の親水性や遊歩道の整備	しくみ構築		整備・活用				
	4) 水辺の景観形成	水環境整備課	景観保全のしくみ構築	調査、検討	プロジェクト(浅川の水辺活用と水量確保)					
	5) 水辺レクリエーションの推進	水環境整備課		調査、検討	プロジェクト(浅川の水辺活用と水量確保)					
(4) 水情報の交流	1) 「水の日」の取組み	水環境整備課 水再生課	実施							
	2) 水に関する総合窓口の開設	水再生課	窓口の開設	準備、調整		開設、運営				
	3) 情報提供の充実	水環境整備課	情報誌の発行	検討、準備		発行				
	4) 大学や企業との連携	水環境整備課	連携・協働の推進	調査、検討		連携・協働の推進				
(5) モニタリングの実施	水環境整備課 水再生課	水辺に親しめる箇所、水護り制度登録団体								

- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



◎水を治める

計画期間目標：床上浸水ゼロ
管理指標：床上浸水箇所数





取組み		担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）						
				平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	
(1) 総合的な治水対策事業の推進	1) 河川整備の推進	水環境整備課	国・都との連携			連携継続				
	2) 水路と公共下水道（雨水）の整備	水環境整備課 下水道課	対策地区の整備	全体計画見直し	対策地区設定	整備				
	3) 雨水流出抑制施策の推進	水環境整備課	開発等における流出抑制指導	雨水貯留浸透推進計画策定		継続指導				
	4) 緑地の保全（森や林の流木対策）や砂防事業の推進	水環境整備課 農林課	流木被害の解消		森林の手入れ推進と東京都への要請					
	5) 水防体制の充実・強化	水環境整備課 防災課 補修センター	充実							
	6) 洪水ハザードマップの普及	防災課	啓発活動の実施		情報の発信としくみの改善					

- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



方針2：水循環に係るライフラインの整備

取組み	担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）					
			平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
(1)安全でおいしい水の安定供給	水環境整備課	耐震化、ループ化	工事	東京都が実施				
		応急給水体制の確立	見直し	体制確立・改善、運用				
(2)安全で安心、環境にやさしい下水道	下水道課	1)基本方針	全体計画、調査、地区選定					
		2)安全で安心できる下水道	工事（北野処理区）					
	重要な管路の耐震化実施	緊急地震対策	総合地震対策					
		流域下水道への編入	設計	工事	分流・合流の編入			
	4)健全な経営に向けて	計画的な経営	経営計画に基づく経営					
(3)北野衛生処理センターの効率的な維持管理	水再生施設課	施設の改修と活用	設計・工事	再構築、運転				
			見直し	見直し				

-  環境基本計画の成果指標・取組の柱
-  目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
-  目標に向けた施策の実施を示す
-  目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す



方針3：『身近な水辺の復活10年プロジェクト』
～八王子・水のまちづくりモデル事業の推進～

取組み		担当所管	事業目標	実施スケジュール（年度）						
				平成 22～ 平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	
(1)八王子湧水ネットワーク構想と水のまちづくり (2)浅川の水辺活用と水量確保 (3)丘陵地の湧水復活 (4)谷戸の保全と回復	八王子駅南口周辺、 中野地区、 叶谷複池・泉町湧水群、 横川弁天池湧水、 片倉城跡公園湧水、 子安神社湧水（明神町）、 小宮公園湧水、 真覚寺湧水、 湧水めぐりの道とコア施設	水環境整備課	8か所で完了			計画・整備・活用				
	北野の拠点 市役所前の拠点 高尾周辺の拠点		3か所で着手			着手・整備				
	石川東公園 周辺水のまちプロジェクト		着手		計画		整備		活用	
	川口川上流域 谷戸と水路の生きものプロジェクト		十二社弁天池のモデル化	計画 整備			活用			

- 環境基本計画の成果指標・取組の柱
- 目標に向けた施策の事前準備や検討調査などを示す
- 目標に向けた施策の実施を示す
- 目標達成後の施策の継続的な実施やさらなる展開などを示す

4. 水循環系のモニタリング方法と効果検証

水循環計画で取り組む施策により、健全な水循環系が再生されていく状況を把握するために、自然の水循環系のモニタリング方法を設定し、効果検証に努めます。

■ モニタリング方法

現在、自然の水循環系を調査するマニュアルは定められていません。東京都は「東京都環境影響評価条例」で、調査、予測及び評価の項目の一つに「水循環」を定めています。その調査方法のガイドラインとなる「東京都環境影響評価技術指針」では、自然の水循環系の把握のために、調査項目が示されています。

この計画では、健全な水循環系の再生の5つの行動において定めた、河川や湧水の水量、水質及び景観や機能、取り組みの結果などを、市民と協働して、流域で連携しながら適切なモニタリングを行います。

健全な水循環系再生の行動	モニタリング項目	モニタリングの時期	モニタリングの方法	協働・連携			計画で指標となっている項目		
				市	市民	流域	八王子ビジョン2022	第2次環境基本計画	水循環計画
雨水を浸透させる	雨水浸透施設設置状況(雨水浸透量)	年度末	集計	○				○	○
	森林の主伐・植林	年度末	照会	○					
	森林の間伐	年度末	照会	○					
	河川流量	渇水期・豊水期、毎月(市)、通年	断面流速法、連続測定	○	○	○			
	湧水の水質	渇水期・豊水期	断面流速法、容積法	○	○	○			
	地下水	渇水期・豊水期、通年	直接測定、連続測定	○	○				
	水収支(5年)	平成31年	計算	○					
きれいな水を川に戻す	公共下水道接続率	年度末	集計	○					
	河川水質(環境基準)	毎月(一部、四半期)	測定計画に基づく	○		○		○	○
	河川水質(水浴上の基準)		養便性大腸菌群数	○					
	河川底質	毎月	測定計画に基づく	○					
	河川・水路の水質(任意箇所)	任意	簡易計測、機器分析	○	○				
	湧水の水質	渇水期・豊水期	簡易計測	○	○	○			
生きものの棲む水辺を育てる	自然性を高めた水辺の箇所数	年度末	集計	○					○
	水辺の生きもの	随時	採取	○	○				
	水辺地	随時	すこやかさ	○	○				
	湧水地	渇水期・豊水期	目視	○	○	○			
水を上手に使う	水辺に親しめる場所数	年度末	階段・緩傾斜の確認	○			○		
	水辺の水護り制度登録者数	年度末	集計	○					○
水を治める	河川整備率	年度末	集計	○					
	水路整備率	年度末	集計	○					
	下水道(雨水)整備率	年度末	集計	○					
	流出抑制整備率	年度末	集計	○					
	床上浸水箇所数	年度末	集計	○					○

<調査方法>

- 河川水 流水の断面及び流速を測定することで計測します。また国土交通省の調査結果を整理することで連続的な水量を把握します。
- 湧水 袋やバケツで一定時間の水量を計測するか、水路の流水の断面と流速を測定する方法で計測します。
- 地下水 触針式水位計か巻尺などで計測します。連続測定を行う場合は、圧力式の自記水位計を用います。

■ 経年変化の観察、効果検証

施策に伴う水循環系の再生の効果を、定期的なモニタリングによって観察し、経年変化の傾向により検証します。また、湧水ネックレス構想と水のまちづくりにおける湧水地や、森林の循環における小流域モデルにおいて、モニタリング結果を利用した個別の検証を行います。

調査項目		効果検証方法
水域の状況	地下水	地下水涵養量の増加について、渇水期の地下水位を経年的に比較することで検証します。ただし、降雨に対して敏感に反応するため、測定日までの一定期間の降雨量と併せて比較します。
	湧水	渇水期の湧水量、水質、景観などを経年的に比較することで検証します。ただし、降雨に対して敏感に反応するため、測定日までの一定期間の降雨量と併せて比較します。
	河川水	地下水流出量の増加について、低水流量時期の河川水位（河川流量）を経年的に比較することで検証します。

